

【AI・RPA・セキュリティ人材育成 超基礎 学習コース一覧】

コース	概要
1. AIは何ができるの？	そもそもAIとは何か、またAIが得意なことは何かを易しく説明。人間とAIができることを分担し、協調する社会を展望します。
2. AIは学習する	従来のプログラミングとの比較を通して、「学習する」AIの優位性に触れます。さらに、機械学習の基本的な仕組みを学習。
3. ディープラーニング	AIが普及するきっかけとなったテクノロジーであるディープラーニング。その仕組みから導入事例、将来の可能性まで。
4. AIはどうやって作るの？	AI開発にかかわる一連の流れを俯瞰。データ収集・加工を経て学習モデルを作るAI。効果検証を通してさらに精度を高めます。
5. AIの製品・サービスには何がある？	AIを用いた各種サービスを、「行動・傾向分析」「業務効率化」「予測・予知」サービスに分類して確認します。
6. AIが苦手なことは？	AIは発展途上のテクノロジー。できないこともあります。AIが扱えるデータの条件を簡潔にまとめ、AI導入のヒントに。
7. AIを導入するための第一歩	実際にAIを導入するためのプロセスを、順を追って解説します。導入にかかるリスクやコストも考えていきます。
8. どうしてRPAが必要ななの？	労働をめぐる問題が噴出する社会の中で、「働き方改革の救世主」ともいわれるRPAが果たすことのできる役割を考えます。
9. RPAはどうやって作るの？	まずRPAとはどんなツールなのか、特徴を確認。自動化する業務の選定～設計・作成～運用まで、一連の流れを解説します。
10. RPAの製品・サービスには何がある？	RPAは、自動化する範囲等によって用いるツールが異なります。ここでは種類ごとに著名なツールを取り上げ、比較します。
11. RPAが苦手なことは？	RPA導入に伴い課題が発生しても、手順を踏むことで解決できることがあります。発生しがちな課題や対応法に触れます。
12. これからのRPAはどうなる？	活用事例やAIとの比較などを通して現状を把握。より使いやすいサービスの普及等、今後のRPAをめぐる可能性を展望します。
13. 最近のセキュリティ動向とは？	サイバー攻撃の歴史とリスクを確認。昨今はIT環境の普及により被害の深刻化リスクが増大、対応が急務の現状を解説します。
14. セキュリティ対策はどんなものがある？	代表的なサイバー攻撃の手口を紹介し、技術面と人の手による管理面の両面によるセキュリティ対策の必要性を説明します。
15. AIにおけるセキュリティとは？	学習データに侵入する等、AIを不正に操作する攻撃手法を確認し、攻撃の種類ごとにどのような対策が取れるかを紹介します。
16. RPAにおけるセキュリティとは？	外部からの攻撃だけでなく、誤作動等発生しうるリスクを具体的に確認。ガバナンスの整備と技術的な対応策を考えます。
17. クラウドにおけるセキュリティとは？	近年普及するクラウドサービス。その特徴を把握し、そこに潜むリスクと対応策も、事例を取り上げながら解説します。
18. 企業におけるセキュリティの第一歩	セキュリティ体制を整備するための基本的な考え方を確認し、新たな対策を導入するステップなどを検討していきます。

申込の流れ

福岡商工会議所HPより申込

申込内容確認メールが届く

ID/PWの発行(メール通知)

開講メール通知、受講開始

支払い

